



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月5日

上場会社名 株式会社バンダイナムコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7832 URL <http://www.bandainamco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 祝男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 浅古 有寿 TEL 03-5783-5500  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	350,637	8.4	44,194	43.6	45,046	46.2	27,995	71.7
24年3月期第3四半期	323,397	12.3	30,783	85.3	30,811	85.9	16,301	343.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 30,008百万円 (94.9%) 24年3月期第3四半期 15,398百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	127.43	-
24年3月期第3四半期	71.75	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	349,361	236,464	67.2
24年3月期	342,171	213,125	61.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 234,728百万円 24年3月期 211,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	12.00	-	14.00	26.00
25年3月期	-	12.00	-		
25年3月期(予想)				18.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（平成25年2月5日）公表いたしました「平成25年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	460,000	1.3	42,500	22.8	42,500	21.6	24,500	26.9	111.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

平成24年11月2日に公表いたしました連結業績予想の通期を本資料において修正しております。詳細は、添付資料 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）NAMCO BANDAI Partners S.A.S.  
（注）詳細は、添付資料 P. 4「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料 P. 4「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。  
詳細は、添付資料 P. 4「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	222,000,000株	24年3月期	222,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,308,895株	24年3月期	2,308,176株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	219,691,394株	24年3月期3Q	227,196,486株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成25年2月5日に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、国内において景気回復の兆候が一部見られたものの、欧州の財政金融不安に伴う海外経済の減速や為替変動の影響などにより、全体としては依然として厳しい経済環境で推移しました。また、エンターテインメント業界においても、個人消費の低迷等により不透明な状態が続きました。

このような環境のなか、当社グループは当期よりスタートした新たな中期計画のビジョンである「挑戦・成長・進化」のもと、中長期的な成長へ向けて様々な施策を推進しており、事業面では、コンテンツ事業がIP

(Intellectual Property、キャラクターなどの知的財産)を軸とした連動展開により、ネットワークコンテンツを中心に各カテゴリーで業績に貢献しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高350,637百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益44,194百万円(前年同期比43.6%増)、経常利益45,046百万円(前年同期比46.2%増)、四半期純利益27,995百万円(前年同期比71.7%増)となりました。

#### [セグメント別業績]

##### [トイホビー事業]

トイホビー事業につきましては、国内においては、「仮面ライダー」シリーズや「スマイルプリキュア!」などが、玩具を軸としたカテゴリーの連動展開により順調に推移しました。なお、国内全体では、「スーパー戦隊」シリーズが好調だった前作に及ばなかったこと、商品構成の変化に伴う粗利率の低下などにより、前年同期の業績には及ばなかったものの、女兒向け新規キャラクターの「アイカツ!」の商材、小学生向けのプラモデル、大人向けのコレクション性の高い玩具など、ターゲット拡大へ向けた取組みを着実に推進しました。

海外においては、欧米地域では「Power Rangers(パワーレンジャー)」シリーズ商材の販売が順調に推移しましたが、厳しい市場環境のなか全体としては低調な推移となりました。アジア地域においては、日本と連動した展開により、キャラクター玩具に加えて、プラモデルや大人向けのコレクション性の高い玩具が人気となりました。

この結果、トイホビー事業における売上高は129,279百万円(前年同期比3.2%減)、セグメント利益は12,529百万円(前年同期比28.3%減)となりました。

##### [コンテンツ事業]

コンテンツ事業につきましては、ネットワークコンテンツが、「機動戦士ガンダム」シリーズ、「ワンピースグランドコレクション」、「アイドルマスター シンデレラガールズ」などのソーシャルゲームを中心に業績に大きく貢献しました。また、業務用ゲーム機は、定番のシリーズ機器に加え、「釣りスピリッツ」などの新しいゲーム機が人気となるとともに、景品販売も人気キャラクターを中心に好調に推移しました。さらに、「機動戦士ガンダムUC(ユニコーン)」や過去に発売した映像パッケージのリピーター販売が好調に推移した映像音楽コンテンツ、パチンコ・パチスロ向けの液晶基盤販売も業績に貢献しました。家庭用ゲームソフトでは、国内外において「ソウルキャリバー」、「ナルト」、「テイルズ オブ」などの人気シリーズの最新タイトルの販売に加え、国内ではプレイステーション3向けダウンロード専用タイトルの「機動戦士ガンダム バトルオペレーション」や、人気テレビ番組などをゲーム化したタイトルが好調に推移しました。

この結果、コンテンツ事業における売上高は184,898百万円(前年同期比22.1%増)、セグメント利益は30,982百万円(前年同期比166.3%増)となりました。

##### [アミューズメント施設事業]

アミューズメント施設事業につきましては、国内においては、ショッピングセンター内のキャラクターの世界観を体感できる差異化した店舗を中心に堅調に推移したものの、好調に推移した前年同期と比べて、既存店売上高が94.6%となりました。

海外においては、厳しい市場環境のなか、店舗の選択と集中による効率的な運営により、ほぼ前年同期並の業績水準で推移しました。

この結果、アミューズメント施設事業における売上高は43,845百万円(前年同期比4.6%減)、セグメント利益は940百万円(前年同期比48.6%減)となりました。

#### 平成24年12月31日時点における施設の状況

直営店	レバニユーシェア	その他	合計
255店	1,024店	2店	1,281店

[その他]

その他事業は、グループの各戦略ビジネスユニットへ向けた物流事業、印刷事業、その他管理業務などを行っている会社から構成されており、これらのグループサポート関連業務における効率的な運営に取り組んでおります。この結果、その他事業における売上高は19,520百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は1,732百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7,189百万円増加し349,361百万円となりました。これは主に配当金や法人税の支払い等により現金及び預金が6,362百万円減少したものの、仕掛品が5,589百万円、受取手形及び売掛金が4,843百万円、有形固定資産が2,638百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ16,149百万円減少し112,897百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4,396百万円、法人税の支払い等により未払法人税等が4,057百万円、返済により長期借入金が2,716百万円、短期借入金が1,212百万円、賞与の支払い等により流動負債のその他に含まれる未払賞与が1,923百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ23,339百万円増加し236,464百万円となりました。これは主に配当金の支払額5,714百万円があったものの、好調な連結業績による四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が21,480百万円、為替相場の変動を受けて為替換算調整勘定が1,400百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の61.8%から67.2%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、国内における個人消費の低迷や欧米の景気減速を含め、厳しい経済環境が続くものと予測されます。また、当社グループを取り巻くエンターテインメント業界の事業環境もこの影響を受け、不透明な状況が継続すると想定されます。

このような状況下、当社グループは当期よりスタートした3ヵ年の中期計画で掲げた戦略を着実に実行し、中長期的な成長につなげてまいります。

トイホビー事業につきましては、国内においては、「仮面ライダーウィザード」に加え、平成25年2月スタートの「獣電戦隊キョウリュウジャー」、「ドキドキ!プリキュア」などの定番キャラクターによる、玩具を軸としたカテゴリーの運動展開を強化してまいります。また、カードゲーム、プラモデル、大人向けのコレクション性の高い玩具など、様々なターゲットへ向けた新たな商品・サービスを投入し、国内圧倒的No.1のポジションを目指してまいります。海外においては、厳しい市場環境が続いている欧米地域については、来期に向けた事業基盤の整備を行うとともに、欧米一体のブランドマネジメントの強化により、主要コンテンツの「Power Rangers（パワーレンジャー）」シリーズの商材を中心に収益性の改善をはかります。また、アジアにおいては、日本で人気のプラモデルや大人向けのコレクション性の高い玩具などを中心に、日本と連動した展開による成長を目指してまいります。

コンテンツ事業につきましては、好調なネットワークコンテンツでは、新規ゲームの投入や既存コンテンツのタイムリーな更新によるソーシャルゲームの安定的な展開を推進するとともに、「機動戦士ガンダムオンライン」など、PCへ向けたコンテンツ展開を強化します。また、タイトルの端境期となる家庭用ゲームソフトでは、プレイステーション3・PS Vita向け「ワンピース 海賊無双2」を、好調な音楽コンテンツでは「機動戦士ガンダムUC episode 6 『宇宙と地球と』」をそれぞれ発売し、販売促進をはかってまいります。

アミューズメント施設事業につきましては、国内において顧客セグメント別の営業の強化により、各ターゲットに合った施設・サービスを展開するとともに、当社グループならではのキャラクターの世界観を体感できる差異化した店舗展開を推進してまいります。海外においては、欧米において各種効率化施策による収益性の向上をはかってまいります。

今期の見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間及び直近において、国内のコンテンツ事業が好調に推移していることから、平成24年11月2日の第2四半期決算発表時に公表しました通期の連結業績予想を、4ページに記載のとおり修正いたします。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	455,000	40,000	40,000	23,000	104円 69銭
今回修正予想 (B)	460,000	42,500	42,500	24,500	111円 52銭
増減額 (B-A)	5,000	2,500	2,500	1,500	—
増減率 (%)	1.1	6.3	6.3	6.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	454,210	34,606	34,960	19,303	85円 62銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、平成24年9月28日付けで連結子会社であるNAMCO BANDAI Partners S.A.S.は、連結子会社であるNAMCO BANDAI Games Europe S.A.S.に吸収合併されたため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ183百万円増加しております。

(4) 追加情報

連結納税制度の適用

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	106,958	100,596
受取手形及び売掛金	69,102	73,945
有価証券	2,073	4,428
商品及び製品	12,907	13,636
仕掛品	19,417	25,007
原材料及び貯蔵品	4,714	5,117
その他	26,423	23,773
貸倒引当金	△677	△512
流動資産合計	240,920	245,992
固定資産		
有形固定資産	44,500	47,138
無形固定資産	8,194	8,155
投資その他の資産		
その他	50,267	49,454
貸倒引当金	△1,711	△1,379
投資その他の資産合計	48,556	48,074
固定資産合計	101,251	103,369
資産合計	342,171	349,361

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,742	44,346
短期借入金	6,773	5,560
未払法人税等	9,360	5,302
引当金	2,980	2,705
その他	40,091	36,401
流動負債合計	107,946	94,315
固定負債		
長期借入金	12,883	10,166
退職給付引当金	3,140	3,526
その他	5,075	4,888
固定負債合計	21,099	18,581
負債合計	129,046	112,897
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	52,245	52,245
利益剰余金	173,250	194,730
自己株式	△2,383	△2,384
株主資本合計	233,112	254,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,867	2,711
繰延ヘッジ損益	229	△8
土地再評価差額金	△6,408	△5,608
為替換算調整勘定	△18,357	△16,957
その他の包括利益累計額合計	△21,669	△19,863
少数株主持分	1,682	1,735
純資産合計	213,125	236,464
負債純資産合計	342,171	349,361



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	323,397	350,637
売上原価	200,158	212,100
売上総利益	123,239	138,536
販売費及び一般管理費	92,455	94,342
営業利益	30,783	44,194
営業外収益		
受取配当金	222	237
持分法による投資利益	—	243
その他	823	586
営業外収益合計	1,045	1,067
営業外費用		
支払利息	90	137
持分法による投資損失	341	—
その他	586	77
営業外費用合計	1,017	215
経常利益	30,811	45,046
特別利益		
固定資産売却益	17	38
関係会社株式売却益	84	32
負ののれん発生益	—	24
その他	199	0
特別利益合計	300	95
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	206	322
その他	1,135	627
特別損失合計	1,342	950
税金等調整前四半期純利益	29,770	44,191
法人税等	13,234	16,014
少数株主損益調整前四半期純利益	16,536	28,176
少数株主利益	234	181
四半期純利益	16,301	27,995

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,536	28,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,056	△153
繰延ヘッジ損益	△91	△238
土地再評価差額金	82	800
為替換算調整勘定	△2,125	1,425
持分法適用会社に対する持分相当額	△60	△2
その他の包括利益合計	△1,137	1,831
四半期包括利益	15,398	30,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,237	29,801
少数株主に係る四半期包括利益	160	206

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	トイホビー 事業	コンテンツ 事業	アミューズ メント施設 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	129,435	142,071	45,874	317,382	6,015	323,397	—	323,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,134	9,339	92	13,566	11,733	25,300	△25,300	—
計	133,570	151,411	45,967	330,949	17,749	348,698	△25,300	323,397
セグメント利益	17,485	11,636	1,827	30,949	1,758	32,708	△1,924	30,783

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループの各戦略ビジネスユニットへ向けた物流事業、ビル管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,924百万円には、セグメント間取引消去26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,951百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	トイホビー 事業	コンテンツ 事業	アミューズ メント施設 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	124,018	175,583	43,798	343,400	7,237	350,637	—	350,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,260	9,315	47	14,622	12,283	26,905	△26,905	—
計	129,279	184,898	43,845	358,023	19,520	377,543	△26,905	350,637
セグメント利益	12,529	30,982	940	44,452	1,732	46,184	△1,989	44,194

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループの各戦略ビジネスユニットへ向けた物流事業、印刷事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,989百万円には、セグメント間取引消去333百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,323百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更に伴い、各報告セグメントのセグメント利益に与えた影響額は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	トイホビー 事業	コンテンツ 事業	アミューズ メント施設 事業	計				
セグメント利益	136	39	0	176	11	188	△5	183

(注) セグメント利益の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用22百万円が含まれております。